

統計グラフコンクールの作品制作指導

岡崎市立井田小学校 國安崇史

1 統計グラフコンクールへの参加

本校の児童は、夏休み期間中の選択課題の一つとして、統計グラフコンクールに参加している。夏休みの前に小学1年生を含めた全校児童に参加を呼び掛け、作品作りを通して統計に興味をもつ児童の育成を目指している。希望者は例年10人程度である。

作品作りに長い時間がかかることから、最後まで手を抜かずやりきったあとの達成感が感じられるように指導し、粘り強く取り組む児童を育成したいと考えた。

2 統計グラフ制作指導

(1) 説明会の開催

6月上旬に全校児童に呼び掛け、希望者を集めて説明会を行う。ここでは、これまでの優秀作品や、グラフの作り方、作品を完成させるまでの流れを紹介した。また、統計グラフ担当教員が相談を受けることも伝えた。やってみたくて参加を希望する児童には、保護者にも確認を取り、児童や保護者からの質問・相談を受けながら、寄り添って進めていくことを伝えた。

(2) テーマ決め

低学年の児童には、主に身の回りのことや興味のあること、高学年の児童には、社会で話題になっていることなどからテーマを考えるようにアドバイスした。さらに、制作の意欲を高めるため、自分が知りたいことや調べたいことをテーマにするとよいことを指導した。

(3) アンケート作り・集計

主に、学校の児童を対象としたアンケート調査を中心にデータを集めた。アンケートを作成する際には、児童とマンツーマンで話し合いの

時間を取り、質問の内容を精選していった。

質問の精選に当たり、特に意識していることは、テーマの内容との一貫性である。児童と会話を進める中で、「グラフを見た人にこう思ってもらいたい」というゴールを明確にして、周りの子どもたちにも聞いてみたいことを質問項目にしていく。アンケートを行う際には、先生や友達に必ず自分で依頼をするように指導している。

集計作業は児童が行い、担当教師がチェックして間違いがないか確認した。

(4) 作品作り・レイアウト作成

B4判の用紙に下書きをしながら、より分かりやすく伝えるにはどのグラフがよいのか、どのような順でレイアウトをすればよいのかを一緒に考える。その後、色画用紙を使ってグラフなどのパーツの作成に入る。その作業については個人に任せている。

3 取り組みの成果

【愛知県統計グラフコンクール】

令和2年度 金賞2点 銀賞2点

